

菜の花

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)				自己評価24項目・外部評価14項目	24	
理念に基づく運営	1 理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)			自己評価3項目・外部評価2項目	3	
	1 理念の共有	1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	発足当初よりサービス提供の基本的考え方として、利用者の気持ちを尊重した理念をもとに地域社会のなかでの暮らしの継続を支えている。	1	利用者を支える統一した介護支援はホーム理念が基本となっている。
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	一日2回申し送り時に、ホーム理念、接遇心得を唱和して日常的に取り組んでいる。	1	集団生活の中での、支え合うことを大切にしたい支援を考え実践している。
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	理念をもとに支援している生活の実際を、見て頂く事が一番の理解と考え、日頃から家族や地域社会の人々に機会を捉え働きかけをしている	1	分かり易い理念を提供して家族や地域の方たちに理解して頂いている。
	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)			自己評価3項目・外部評価1項目	3	
	2 地域との支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常的な付き合いは多くはないが、気軽な関係作りに努力している。	1	基本的ある挨拶を実践している。
		5 外部評価3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会や町内会には加入していないが、運動会見物や慰問があれば参加して交流されている。地域の新聞として市政だよりをすすめていく。	1	地域活動への参加は少ないが、利用者が地域の一員として実感できるような取り組みをしていきたい

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 合との	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	事業所の力は、家族や運営推進メンバーを通して暮らしに役立つ情報発信に努めているが、実際の活動はない。	1	職員間で培ってきた専門的な事業所の力を、地域に継続的に役立てていきたい。
	3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7～11・外部 4～7)		自己評価 5 項目・外部評価 4 項目	5	
	3 理念を実践するための制度の理解と活用	7 外部評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価することで介護の実際が明確になり、見直し改善の機会となっている。反省することが多い。	1	速やかに見直し改善が必要な事や検討する事項とに仕分けしてサービスの質の向上を図ってきたい。
		8 外部評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催メンバー間で報告、意見交換を行いサービス向上に活かしている。	1	運営会議を重ね、グループホームの理解を深め日頃から外部へも働きかけをお願いしている。
		9 外部評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	お互いに多忙の中電話での問い合わせが多いが、必要時は連携を図り協働してサービスの質の向上に努めている。	1	家族や利用者に分かりやすいサービス提供を行うために市町村との連携を図ってきたい。
		10 外部評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	制度については支援者サイドの必須項目と捉え、事業所内で勉強している。現在該当する方はおられないが関係機関と協働していきたい。	1	全職員に最低限の知識習得の周知を図り、必要時に利用者の方に安心して頂きたい。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年に数回勉強の機会を持ち、全職員虐待防止の意識づけをしている。	1	利用者の人権を損なうことがないように、虐待防止に力を入れたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 理念を実践するための体制(自己 12～18・外部 8～10)			自己評価 7 項目・外部評価 3 項目	7	
	4 理念を実践するための体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約時は十分な説明をし事業所の体制を明確にする。出来ない事ははっきり伝える。とにかく利用者、家族の話を十分に聞くようにしている。	1	利用者、家族が安心され、又信頼される誠実な対応をしていきたい。
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	認知症があり表出されにくい状況のため、職員は日常的に対話を図ったり、行動、態度の変化を見逃さないようにして、キャッチし速やかに検討、意見の反映としている。	1	いつでも利用者の目の高さで考える姿勢で情報収集していきたい。
		14 外部評価 8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	個々に合わせた状況報告は機会ある度に行っている。特に病状報告は細かくお知らせしているので安心される。	1	利用者の暮らしぶり全般についての報告を原則と考えている。又職員情報も理解して頂く様あわせて報告していきたい。
		15 外部評価 9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置しているがご利用は少ない。日頃から面会時や電話連絡は意見を聞くよい機会と捉えて、気軽にどんな小さいことでも傾聴し安心して頂いたり、検討して反映している。	1	貴重な意見を反映していくためにも、表出し易い雰囲気作りは今後も継続していきたい。
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定例会を設け意見や提案を受け止め、アンケートによる意見等慎重に検討して、運営に反映させている。	1	意見や提案を反映させて運営を明確にしている。
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	柔軟な勤務体制、応援体制に努め、勤務シフト上も無理のない勤務を確保し調整等も行っている。	1	変化する状況要望に対して、柔軟な勤務体制を行い、安心して頂いている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 る理 念 た め を の 実 体 践 制 す	18 外 部 評 価 10	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	長期的に支援していけるように、働き易い職場作りと職員各自が健康管理をしていくように日常的に話し、家族や利用者の不安やダメージを防ぐ配慮をしている。	1	移動や離職は必要最小限に抑え利用者に安心して頂く。
	5	人材の育成と支援(自己 19～24・外部 11～14)		自己評価 6 項目・外部評価 4 項目	6	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19 外 部 評 価 11	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	本人の仕事への気持ちを大切にして採用の基準とされる。自らの能力を発揮できるように配慮し、資格取得等の意欲に繋げている	1	福祉の現場で遣り甲斐を持って働くことが出来るようにサポートしている。
		20 外 部 評 価 12	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	年間計画を立て、21年度は2回ほど勉強会をしている。接遇面は日常的に職員に話す機会を持ち、言葉の暴力はないか職員同士で注意し合っている。	1	人権学習は継続的に取り組んでいきたい。
		21 外 部 評 価 13	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	正職パートも平等に学ぶ機会があり、働きながらトレーニングしていく事を進めている。個々の努力は評価し段階的に育成する取り組みをしている	1	法人内外の研修の機会があるので積極的に参加されている。
		22 外 部 評 価 14	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会を通してネットワークも広がってはいるが、相互訪問には至っていない。研修会場も遠いので参加は少ない現状である。	1	サービスの質の向上を図るために多方面から取り組みたい。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	年2回の検診を実施し異常があればすぐ早期受診の指示を受け健康管理して頂いている。処遇見直し改善、職員間のトラブル予防はもちろん、職場ノートを設けアンケートを実施し意見を掘り起こし対応して、ストレスの軽減をはかっている。	1	アンケートは役に立っている。改善事項に関しては速やかに対応し、ストレスのない職場作りを目指している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育 成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々の努力や実績、勤務状況は日頃から評価している。努力が無にならないように配慮して、意欲を待って長く働けるように努めている。	1	職員が自分から仕事に取り組む姿勢と長く仕事をしたいけるように働きかけていきたい。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	10	
安心と信頼 に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1	相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)	自己評価 4 項目・外部評価 1 項目	4	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	どんな状況に於いても事業所として本人の気持ちを十分に聞いて受け止めている。又家族にも同じように対応して頂き、納得して入所できるように努力している。	1	本人と初期の信頼関係の構築に努めている。
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者と立場が違う家族の思いは十分に受け止める努力をしている。利用者が緊急時や、重篤な状態の場合の家族の意向は、早い時期に聞く機会を持つようにしている。	1	利用者を一緒に支えていく良好な関係を築いていきたい。
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者へのサービスが不足しないように、適切な支援を見極め提供する為に、他機関との連携を図っている。	1	幅広い支援を提供する為に日頃から他関係機関とネットワークを図っていきたい。
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所を納得されるまでは急がずに、家族と相談しながら勧めている。	1	個々に合わせたサービス利用を開始している。
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価 6 項目・外部評価 1 項目	6	
	係り2 継続 これ な ま ま の 支 援 開 く	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしなが喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ホーム理念にも示す通り職員は、支えあう関係と位置づけして共に過ごしているが、高齢者それぞれの生き方から学ぶことが多いと感謝している。	1	職員は共に過ごすことで利用者への理解を深め、信頼関係を築き支援していきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の立場を理解して双方向的に情報交換を行い、協力して支援している。	1	本人を継続して支えていく、対等な関係を築いていきたい。
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	双方の思いをそれとなく伝えている。お互いの立場を理解し合えるように、双方とよくお話している。	1	職員はこれまでの家族間を理解し、これからの双方の意向を把握し、良い関係の構築に努めている。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が今までの地域社会の暮らしを忘れないように、ドライブや行事参加、ボランティア受け入れ等支援している。、又家族や関係者も面会や外出に努力されている。	1	今後も家族や関係者と協力して支援していく。
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者がともに暮らしを楽しんでいるか、他者と上手く付き合えているか、見守り配慮している。	1	ホーム理念に添って支援している。
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も必要とする場合は利用者、家族相談等でフォローし関係継続のつきあいを大切にしている。	1	退所後も遠慮なく相談されるように説明し、安心して頂いている。
	その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)			自己評価 17 項目・外部評価 6 項目	17	
の一人ひとりの把握	1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)			自己評価 3 項目・外部評価 1 項目	3	
	1 の一人ひとりの把握	35 外部評価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の行動や表情から思いや意向が見える場合が多いので、毎日の対応を大切にし本人らしく生活して頂くように支援している。	1	利用者に寄り添い情報収集に努めている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしぶりを尋ねるのは職員にとって楽しい時間です。どんな風に活かすかを検討しています。	1	安心して自分らしく生活して頂くように日常的に情報収集を図っている。
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個々の暮らしの把握は日常的に行い、出来ない事より出来る力、分かる力を発見して暮らし方に生活かしている。	1	総合的な把握に努めている。
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38～40・外部 18～19)		自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	3	
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価 18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画はサービス提供の要と考え、関係者、職員の意見を反映して作成している。	1	本人の出来る力と出来ない所を見極めた、職員にも分かりやすい介護計画を作成している。
		39 外部評価 19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に見直しを行い、特にニーズがなければ6ヶ月目は本人の現状に即した介護計画を作成しているが、しかし状態は常に変化するので、随時見直ししながら新たなサービス内容を付加している。	1	随時見直しを行うことで現状に即したサービス提供となっている。
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の個別記録は分かりやすく記入して、職員間で情報を共有し、現場の実践や介護計画の見直しに活かしている。	1	情報を共有して統一した介護サービスを提供している。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)		自己評価 1 項目・外部評価 1 項目	1	
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価 20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の状況は常に変化するので、医療と連携した受診支援やホームの看護者による治療体制で、入院を回避し家族も安心されるように、ホームの生活を継続していただく又入院された場合の早期退院の連携支援等行っている。	1	ホームが出来る支援を柔軟に取り組んでいく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42～51・外部 21～22)		自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	10	
	4	42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ホームの様々な場面で参加協力して頂くので生活の安心安全を担って頂いていると感じてる。	1	必要に応じ公的機関や身近な地域資源等の活用を増やし協働していきたい。
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	現在利用のあるサービスは訪問歯科、訪問理美容、オムツ給付（市町村横だしサービス）である。利用者の暮らしに不自由さはないか職員間で見直ししている。	1	必要時は他事業者とサービス利用のために速やかな対応を図りたい。
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	入所申し込み待機者状況に関しての連絡等があるが実際の協働までには至らない。	1	必要時は利用者のより良い暮らしのマネジメントの為に協働していきたい。
		45 外部評価 21	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用契約時に説明し、希望されるかかりつけ医について納得して頂いている。適切な医療受診が出来るように、連携を図り支援している。	1	適切な受診支援を行い、利用者家族に安心していただく。
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に詳しい専門医との連携は心強い。必要時は相談して、診断や治療薬等の経過を家族に連絡している。	1	認知症症状の進行抑止を支援するも、年齢や状態変化と共に低下傾向は否めない。診断治療の場合と状態報告は、家族へ行っていきたい。
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ホームの職員は、かかりつけ医の看護職と利用者の健康管理にあたり、状態変化時は連携を図り協働して支援している。職員も利用者家族も信頼と安心感がある。	1	状態の悪化予防のために協働して支援している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者や家族は入院されると、入院中のことも又退院後のことも不安になられるので、お見舞いに行き職員は顔を見せている、必要時は関係機関と情報交換している。	1	利用者と家族が安心されるように病院関係者との情報交換に努めている。
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医師は早いうちから利用者家族へ十分な説明をされ、家族の意向を聞かれている。ホームでの医学管理や共有した方針の支援にも限界があり、家族は医師と話し合いを重ねておられる。終末期に向けた支援は、体制の整備がないので実施していない。	1	利用者や家族の意向を尊重した体制作りに勤めたい。
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医師は事業者とその見極めを話し合い家族に相談している。この間チーム支援は継続している。	1	三位一体で話し合い方針はチーム支援である。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	環境の変化は本人のダメージや不安が大きい為、ケア関係者間と話し合いや情報交換を行い、ダメージを最小限に防止している。	1	移行後も本人が望む暮らしが安心して継続できるように、他機関との連携や協力を努めていきたい。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価3 8項目・外部評価1 1項目	37	
その人らしい暮らしの支援 日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)			自己評価3 0項目・外部評価9項目	29	
	1 その人らしい暮らしの支援	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)		自己評価3項目・外部評価2項目	3	
		52 外部 評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーの確保は職員全員が周知している。特に入浴、排泄時の対応や声かけ、記録、保管について、慎重な取り扱いをしている。	1	尊厳のある暮らしの継続を図るため、一人ひとりの誇りやプライバシーを大切に支援している。
		53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日常的に本人の分かる力に合わせて働きかけている。表出された思いや希望に対応している。	1	自己決定して生活していると言う実感を支援したい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部 評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自分のペースや希望がある方は自由に過ごされている。安全面に注意している。その他の入居者も負担にならないように、個々のその日のペースを大切に寄り添って支援している。	1	理念に添ってその人らしい暮らしの実現を支援していきたい。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	6	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理美容サービスは定期的に利用されいつも小綺麗にされている。服を選んだり、他者の服にも関心を示され会話が増えている。	1	身だしなみやおしゃれは継続して支援していきたい。
		56 外部 評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	小さいお手伝いもお喜んでされる。利用者と職員は一緒に食事をして楽しんでいる。食事時間は一番力が入って集中力がある。職員も健康管理の目安としている。食事時は不穏の方もひと区切りになったりする。	1	食べることは生きることと位置づけして常に満足度を考え反映していきたい。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	好きなものを提供している。お酒、タバコの該当者はいない。飲み物やおやつ等お預かりしたりするが、ホームも色々なものをご用意して喜んでもらっている。	1	本人や家族が望む時は対応していきたい。
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	職員にとって排泄支援が一番難しく、特に便のコントロールは苦労が見える。細かい排泄チェックを行い支援している。オムツ使用については適切に慎重に又家族に説明している。	1	医療機関と連携を図り、健康管理に努めたい。
		59 外部 評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	気温が高い午後から入浴実施している。一人ずつゆっくり入浴される。週3回提供している。	1	要望がある時は支援方法を検討して満足して頂く。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼食後は短い休息を入れている。日課は一人ひとりに合わせて行い、生活リズムを整え、夜間の良眠に繋げているが、不眠の訴えや不穏があり危険性が高い場合は、医師に相談している。	1	夜間良眠できるように、日中の支援に工夫をしている。
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61～66・外部 27～28)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	5	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	負担にならないような本人の力に合わせた役割をお願いしている。達成感や満足感の様子を見守りして会話を膨らませている。面会は大きな楽しみや気晴らしとなっているので、家族と協力している。	1	本人の自信に繋がる様な支援に努めていく。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金だけに限らず、衣服や自分の身の周りのもの全てに対して、被害妄想があり困難な面がある。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	法人内のお地藏様や庭まで散歩に出かけたり、近郊へドライブに出かけている。面会の家族と一緒に気晴らしに外出される事もある。	1	外出支援を増やしたいと考えている。
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	普段はいけな場所へ本人の要望に応じて準備はあるが、安心されるように家族に協力して頂いている。	1	自己実現の支援は家族と連携をとり協力していきたい。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時は対応しており自由に電話されている。職員はプライバシーに配慮して支援している。	1	本人が望む電話や手紙のやり取りは、自由に出来る環境である。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	ホーム内は広くはないが、開放的で気軽に出入り訪問されている。	1	居心地良い環境を整備していきたい。
		(4)	安心と安全を支える支援(自己 67～74・外部 29～30)	自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	8	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日常的に拘束のないケアを実践している。言葉の暴力が拘束と気づかないでいる場合はその場で職員同士が注意し合っている。	1	人権保護の観点から身体拘束のないケアに取り組んでいるが、さらに学習を重ね全職員の意識向上を図って生きたい。
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホーム内で見守りの連携を図り、居室や日中玄関に鍵を掛けていない。夜間、早朝の施錠開錠の時間帯を取り決め、日中の離設者の見守りは担当を決め、他職員と連携している。	1	安全確保に継続して取り組んでいく。
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜を通して利用者の所在を把握し、安全に配慮している。	1	安全確保はプライバシーに配慮している。
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	使用後の片付けは速やかに行っている。包丁、洗剤類も保管庫になおし、包丁は係りが業務日誌にサインしている	1	保管体制を整え危険予防を図っている
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルを設置、学習会も重ねている。利用者の状態把握と環境整備を行い予測できる事故防止に取り組んでいる。	1	ヒアリハット報告書は原因と分析対策を必ずチェックして再発予防に取り組んでいる。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	特に発生し易い感染症や事故発生時の対応について定期的に知識と技術習得の学習会をおこなっている。	1	全職員が介護現場で最低限習得すべき課題として、特に実践学習に取り組んでいきたい。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災訓練を年2回、昼、夜間を想定し利用者も参加して非難訓練を実施している。消防署、警備保障会社、法人内施設に連絡、協力をお願いしている。	1	災害対策は地域の協力体制の働きかけに取り組んでいきたい。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	利用者の安心した暮らしを守るため、状況説明を随時行い、リスク対応策について家族と協力して検討している。	1	利用者、家族が安心安全できる暮らしを守るため、協力し合って取り組んでいる。
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	7	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	まず日頃の状態を知る事と指導している。小さなことでもその日の情報を共有して、必ず看護報告、緊急性がある場合は上申している。	1	観察力、毎日の記録の確認、連絡報告相談を行い早期対応にそなえている。
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	特に症状に合わせた臨時薬については、看護者の指導のもとに理解し症状変化の確認を行っている。	1	内服の理解と症状変化の確認に努めている。
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事献立、水分補給、レク活動、ラジオ体操等で運動も働きかけている。排便チェックは詳細に行い、便秘の苦痛を最小限にする為に内服コントロールしている。	1	便秘予防と対応は日常的に取り組んでいる。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後声かけ見守りして実施されるも、不十分であり介助して清潔保持している。	1	口腔内の清潔保持に努め感染予防に取り組んでいる。
		79 外部評価 31	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が必要な栄養バランスを提供している。食事量、水分チェックを行い、状態や習慣に応じて支援している。	1	楽しく栄養摂取や水分確保ができるよう努めている。
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザ、ノロウイルス、嘔吐下痢等マニュアルを備え繰り返し実行している。	1	感染症の早期予防対応策は年間学習計画に取り組んでいる。
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所、調理用具は管理方法を定めている。食材は新鮮保持の為に2日毎に調達している。地域からの頂き物や、ホーム菜園の新鮮な野菜を提供している。	1	衛生管理と安心安全な食材を使用して、食中毒予防に努めている。
	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)～(2) (自己 82～89・外部 32～33)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	8	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82～86・外部 32～33)		自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	5	
		82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	門扉は広く開放感があり、玄関先はスロープと手すりですぐ安全に出入りされている。	1	玄関周りはホームの顔として親しみやすい印象に工夫していきたい。
		83 外部評価 32	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は明るく清潔で不快な音や臭いがないように努めている。対面式の台所は生活感があり、カレンダーや季節感のある絵を貼って、会話のきっかけを作っている。	1	ホーム内のスペースは清潔感を大切にしている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間で思い思いに過ごしておられる時は安全面に気を付けて見守りしている。	1	共用空間の中に安全で安心できる手作り感のあるスペースを工夫していきたい。
		85 外部評価33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	認知症の進行と共に、被害妄想や転倒の危険性があり、本人が使い慣れたものを仕舞い込む状況が目だっている。家族にも説明している。居室はシンプルである。	1	本人にとって居心地良い空間とは何か考えさせられ、他方面から取り組んでいきたい。
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気は朝夕2回実施、週1回オゾン実施、利用者に合わせた温度調節は、小まめに実施している。	1	健康管理のために継続している。
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87～89)		自己評価3項目	3	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、浴室、ホール内の移動スペースは手すりを取り付け、床はバリアフリーであるが、皆さん必ず声かけや見守りが必要な状況で生活されている。	1	一人ひとりの身体機能に合わせた安全な環境を提供して自立支援に取り組んでいきたい。
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かし、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	本人の分かる力の低下が目立ってきているが混乱や失敗を予防する為に情報を共有して環境整備をしている。	1	本人に合わせた環境の見直しを図っていきたい。
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外周りは開放的で散歩や日向ぼっこに丁度良い環境で利用している。	1	広い空間を活かした利用者の活動の場を整備していきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取 り 組 み の 成 果 (該 当 番 号 を 該 当 番 号 欄 に 入 力 す る こ と)	該 当 番 号	
サ ー ビ ス の 成 果 に 関 す る 項 目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2 / 3 くらいの 利用者の1 / 3 くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	3		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2 / 3 くらいと 家族の1 / 3 くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが 広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2 / 3 くらいが 職員の1 / 3 くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2 / 3 くらいと 家族等の1 / 3 くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取 り 組 み の 成 果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。